

令和4年度 女子 2部適用規則 (0417訂正版)

採点規則 2022年版 変更規則 I を以下のように部分変更して、大阪高体連2部適用規則とする。

【演技の採点】

Dスコア（構成）

| | |
|-------------|--|
| 難度点 (DV) | <p>跳馬・・・2022年版採点規則の難度点に 1.40点 をプラスする。</p> <p>段違い平行棒・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。</p> <p>平均台・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>ゆか・・・最大8つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>同一技の難度は演技の中で1回のみ承認される。</p> |
| 構成要求 (CR) | 4つの構成要求 (各 0.5×4) 最大で 2.00 |
| 加点 | <p>段違い平行棒、平均台、ゆかの演技において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い演技に対して最大で 0.50 を与える (一部分または演技全体の流れに対して評価する) 　*美しさ (体線・開脚度) 　*雄大さ (宙返りの高さ・振幅の大きさなど) ・ボーナス (+0.5) <各種目の項目に記載> |

Eスコア（実施）

10.00 から、実施と芸術性の減点をおこなう。

短い演技

短い演技の場合、Eスコアの最高点は以下の通り。

| | |
|---------|-------|
| 6技以上の実施 | 10.00 |
| 5技の実施 | 8.00 |
| 4技の実施 | 6.00 |
| 3技の実施 | 5.00 |
| 2技の実施 | 4.00 |
| 1技の実施 | 3.00 |

【各種目の規則】

| | |
|----|---|
| 跳馬 | <p>跳躍台の高さ 120 cm</p> <p>開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のDスコアは 1.00 とする。Eスコアは 5.00 から減点する。</p> <p>台上倒立前転のDスコアは 2.00 とする。Eスコアは 7.00 から減点する。</p> <p>2回の跳躍を実施し、良いほうのスコアを有効点とする。</p> <p>禁止技…宙返りを伴う跳躍技</p> |
|----|---|

| | 構成要求 (CR) | 種目特有の減点 | A難度を認められる技 | 備考 |
|----------------------------|--|------------------------------|--|--|
| 段 違 い 平 行 棒 | ① 低棒け上がり ② 高棒け上がり ③ 棒に近い回転系の技 ④ ③とは異なる回転系の技 ボーナス 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。 | 「低棒から高棒へジャンプして移動する-0.5」を削除する | ・さかあがり (開始技) ・そんきよ ・高棒～ 棒下振り出し下り | 禁止技… C難度以上の技 (倒立局面を逸脱することによって難度が変わる技は禁止技としない) (例) 後方浮支持回転倒立 |
| 平 均 台 | ① 180度開脚(前後または左右)または左右開脚屈身のリフ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つのダンス系の技からなる組み合わせ ② <u>片足上のターン(360度以上)</u> <u>または接転系の技※</u> ③ 前方/側方のアクロバット系の技(前転を除く) ④ 後方のアクロバット系の技(後転を除く) ボーナス 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。 | 変更なし | ・伸身とび ・かかえ込みとび ・前転 ・後転 ・前転とび下り ・側転とび下り ・片足踏み切り 側方伸身宙返り下り ・片足踏み切り 前方伸身宙返り下り | 禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く) ※接転系の技 ・前転 ・後転 ・前転上がり ・手支持なしで前転 ・倒立前転 |
| ゆ か | ① 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つのリフまたはホップの直接または間接の組み合わせでの移動 ② 片足上のターン (360度以上) ③ 前方/側方の空中局面を伴うアクロバット系の技 ④ 後方の空中局面を伴うアクロバット系の技 ボーナス 以下の実施があれば、+0.5 の加点を与える。 3つの技からなるアクロバット系シリーズ(3つとも空中局面を持つアクロバット系の技であること) | 変更なし | ・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・かかえ込みとび | 禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く) |

- 注 ①A難度を認められる技も構成要求(CR)に使用できる。~~ただし、平均台の前転、後転は使用できない。~~
 ②段違い平行棒のさかあがりは開始技でのみ難度を認める。(開始技で、低棒け上がりを行ったが難度が承認されなかった。そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりの難度は認める。)
 ③ゆかの空中局面をともなうアクロバット系の技に、前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。